

地域の教育を考える 意見交換会

富山県教育委員会

- | | | |
|--------|-------------------------|---------|
| 【高岡会場】 | 令和6年8月4日(日)10:00~12:00 | 高岡商工ビル |
| 【富山会場】 | 令和6年8月6日(火)19:00~21:00 | 高志会館 |
| 【新川会場】 | 令和6年8月8日(木)19:00~21:00 | 新川文化ホール |
| 【砺波会場】 | 令和6年8月10日(土)10:00~12:00 | 砺波市文化会館 |

1. 県立高校の目指す姿

魅力ある高校教育を通じた「ウェルビーイング」の向上

～学びたい、学んでよかったですと思える高校づくり～

学びの質の向上

生徒の幅広い
選択肢の確保

社会のニーズを踏まえた
教育体制を整備

学びの改革《とやまの新しい教育の創造》

＋新たな学び・多様な学び・未来を拓く学びの場を目指して

【学科構成】

職業系専門学科単独校

- ・多様な小学科を設置

総合選択制高校

- ・複数の学科の枠を超えた学びを実践

普通科系高校等

- ・教科等横断的な学びを実践
- ・特色ある学びができるコース等を設置
- ・地域の特性を生かした学びを実践

総合学科設置校

- ・普通科と職業系専門学科の両方を学べる科目を開設

様々な
学科構成



【学校規模】

中～大規模校

- ・幅広い学びの選択肢を確保するため、多くの学科や科目を開設する高校
- ・設置学科の一部に特色あるコース等を導入する高校
- ・特色ある学びに必要な科目を開設する高校

小規模校

- ・専門的な科目に特化した教育課程の作成等の工夫により、小規模でも運営が可能な高校

※小規模のメリットを最大限に生かす工夫が必要

様々な
学校規模



2. 学科・コースの見直し

特色・魅力ある教育課程の実現 ICTの効果的な活用 効果的な情報発信 教育活動を支援する取組みの推進

普通系学科

学科・コースの新設

- ・データサイエンス
- ・グローバル
- ・地域連携

農業科

テクノロジーを生かした農業教育

- ・SDGsの実践
- ・AIやIoTの利活用
- ・スマート農業技術の導入

水産科

時代のニーズを取り入れた水産教育

- ・6次産業化
- ・環境保全型の水産業に関する研究

工業科

社会の変化に応じた学科・コース

- ・デジタルものづくり
- ・工業デザイン
- ・防災・社会基盤維持

商業科

社会の変化に応じた学科・コース

- ・起業家精神を学ぶ取組み
- ・普通科コース化等

家庭科

ウェルビーイングを向上させる取組み

- ・課題解決型学習
- ・地域やNPO法人等との連携

看護科

最新医療教材を用いた学習活動の充実

- ・医療現場に近い学習機会の拡充
- ・地域の医療機関との連携

福祉科

時代の変化に対応できる介護福祉士の育成

- ・チームケアを意識した協働的な学習の充実

総合学科

系列の学びを通じた専門性の向上と課題探究型の学びの充実

- ・時代の変化等に応じた系列の整備
- ・キャリア教育の推進

定時制・通信制

多様な生徒に対応した学びの場の充実

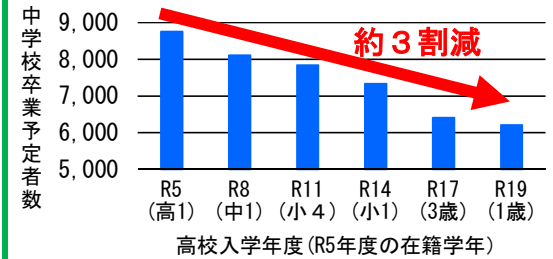
- ・外部人材を活用した生徒支援体制
- ・多様な生徒に対応した教育課程

3. 様々なタイプの学校・学科

- ・中高一貫教育校
- ・国際バカロレア（IB）認定校等
- ・全国募集
- ・外国人生徒に係る特別入学枠 など

4. 県立高校再編の検討

○中学校卒業予定者数の推移



現在の学校数を維持した場合、多くの県立高校が小規模校となる。

《平均学級数》

R5年度
4.6学級

R14年度
4.0学級

R19年度
3.4学級

○再編検討の方向性

生徒が一定の通学時間内の高校から多様な選択ができるよう、様々な学科構成や規模の学校をバランスよく配置するための検討を進める。

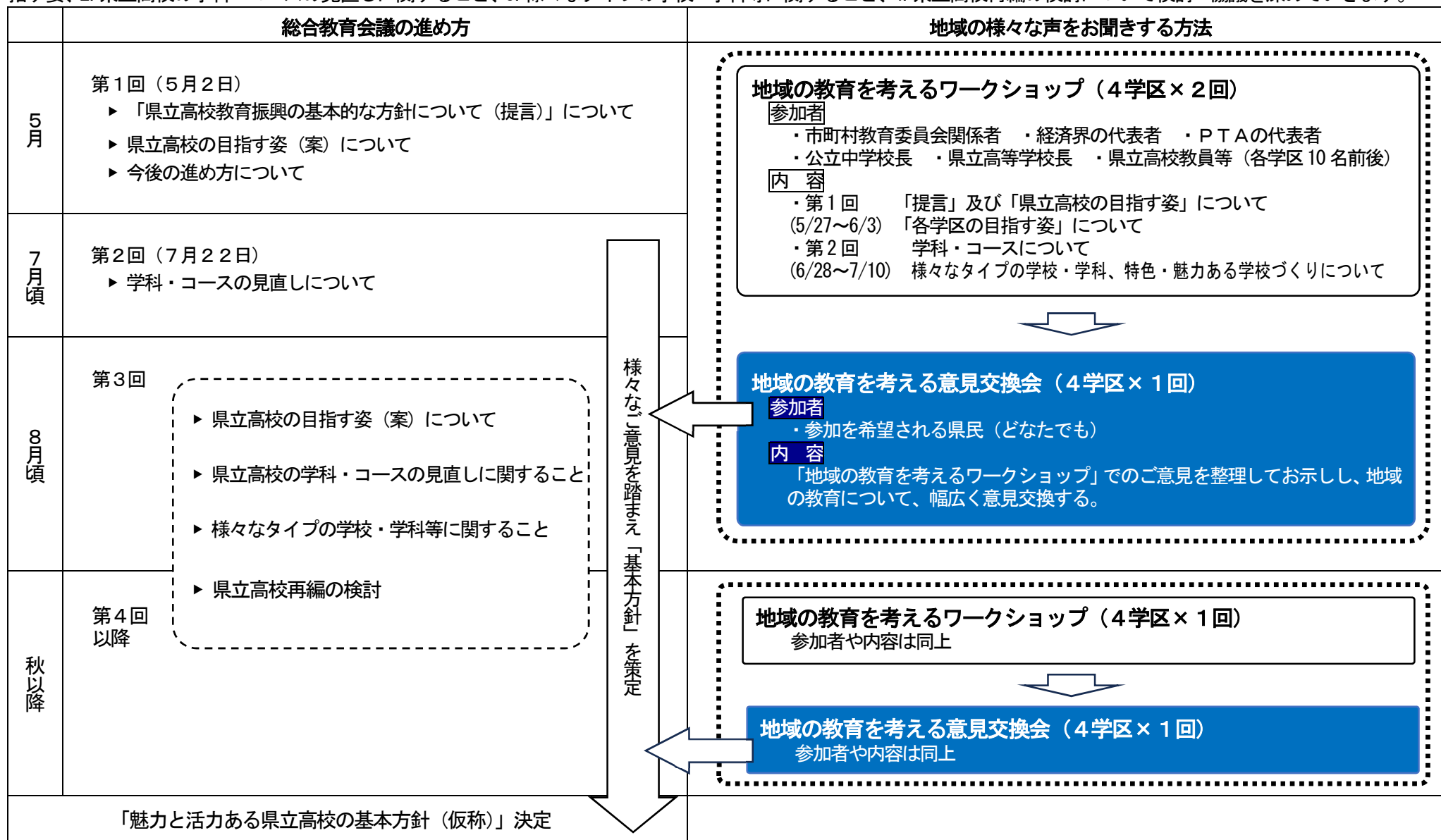
学校規模が、1学年4学級未満又は160人未満の規模の学校については、再編統合の検討の対象とする。

ただし、全県的な視野から特色ある教育活動の展開が期待できるなど特別な事情（職業科単独校、地理的な制約）を考慮して検討する。

学校規模が、1学年4学級以下又は160人以下の規模の学校についても再編統合の検討の対象とするなど、検討の範囲を広げることも考えられる。

検討の進め方

「県立高校教育振興の基本的な方針について（提言）」を踏まえ、地域の様々な声をお聞きしながら、知事が主催する今年度の総合教育会議において 1. 県立高校の目指す姿、2. 県立高校の学科・コースの見直しに関する事、3. 様々なタイプの学校・学科等に関する事、4. 県立高校再編の検討について検討・協議を深めていきます。



県立高校(全日制)の配置状況

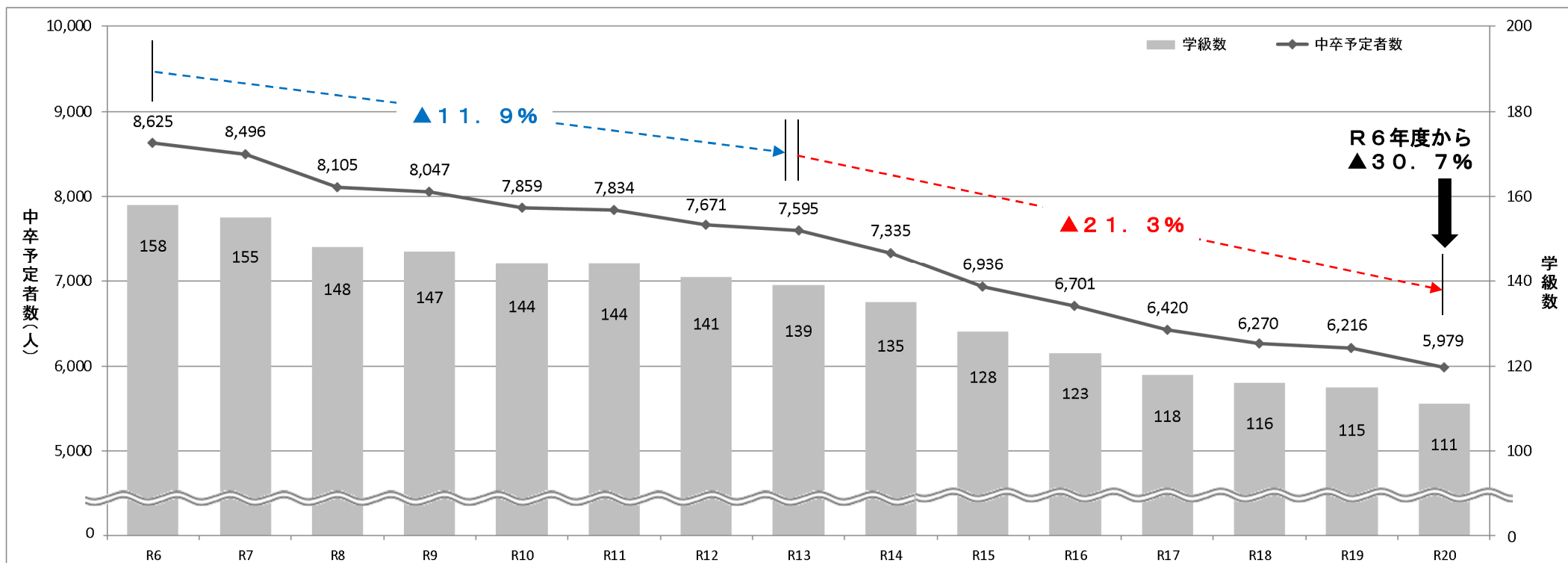


令和 6 年度県立高校(全日制)の学科配置状況

学級数/学年	新川学区	富山学区	高岡学区	砺波学区
8 学級		富山工業(工8)		
7 学級			高岡工芸(工7)	南砺福野(普4国1農1福1)
6 学級		富山(普4探2)	高岡(普4探2)	
		富山中部(普4探2)		
		富山北部(普3工2商1)		
		富山商業(商6)		
		富山東(普6)		
		呉羽(普6)		
5 学級	入善(普4農1)	富山いずみ(総4看1)	高岡商業(商5)	
	桜井(普3工1家1)	富山南(普5)	氷見(普2農水1商1家1)	
	滑川(普2工1商1水1)			
4 学級	魚津(普4)	八尾(普4)	小杉(総4)	砺波(普4)
	上市(総4)	富山西(普4)	新湊(普3商1)	砺波工業(工4)
			高岡南(普4)	石動(普3商1)
3 学級	魚津工業(工3)	中央農業(農3)	大門(普3)	
	雄山(普2家1)		伏木(国3)	
			福岡(普3)	
1 学級				南砺平(普1)

今後の中卒予定者数及び学級数の見通し

資料5



年 度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
中卒予定者数(推計)*1	8,625	8,496	8,105	8,047	7,859	7,834	7,671	7,595	7,335	6,936	6,701	6,420	6,270	6,216	5,979
R6年度の在籍学年	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
学級数(推計)*2	158	155	148	147	144	144	141	139	135	128	123	118	116	115	111
前年度比		▲3	▲7	▲1	▲3	±0	▲3	▲2	▲4	▲7	▲5	▲5	▲2	▲1	▲4
R6年度比	基準	▲3	▲10	▲11	▲14	▲14	▲17	▲19	▲23	▲30	▲35	▲40	▲42	▲43	▲47
34校を維持した場合の平均学級数(推計)	4.6	4.6	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	3.8	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3
平均学級数4.6を維持する場合の学校数(推計)	34	33	32	31	31	31	30	30	29	27	26	25	25	25	24

*1 当該年度の学級数の算定基礎となる、前年度の中学校卒業予定者数を記載。R6～R14は学校基本調査(R5. 5. 1)の在籍者数、R15～R20は人口移動調査(R5. 10. 1)に基づく推計。

*2 中学校卒業予定者数(推計)をもとに、法律に基づく1学級40人を前提として、また、公私比率を70.8%と仮定した、学級増減数の推計値。

*3 平均学級数4.6を維持する場合の学校数は、各年度の学級数を4.6で除した数(小数点以下切り捨て)

魅力ある高校教育を通じた「ウェルビーイング」の向上

～学びたい、学んでよかったと思える高校づくり～

学びの質の向上

生徒の幅広い
選択肢の確保

社会のニーズを踏まえた
教育体制を整備

学びの改革 《とやまの新しい教育の創造》

＋新たな学び・多様な学び・未来を拓く学びの場を目指して



様々な 学科構成

【学科構成】

職業系専門学科単独校

- ・多様な小学科を設置

総合選択制高校

- ・複数の学科の枠を超えた学びを実践

普通科系高校等

- ・教科等横断的な学びを実践
- ・特色ある学びができるコース等を設置
- ・地域の特性を生かした学びを実践

総合学科設置校

- ・普通科と職業系専門学科の両方を学べる科目を開設

様々な 学校規模

【学校規模】

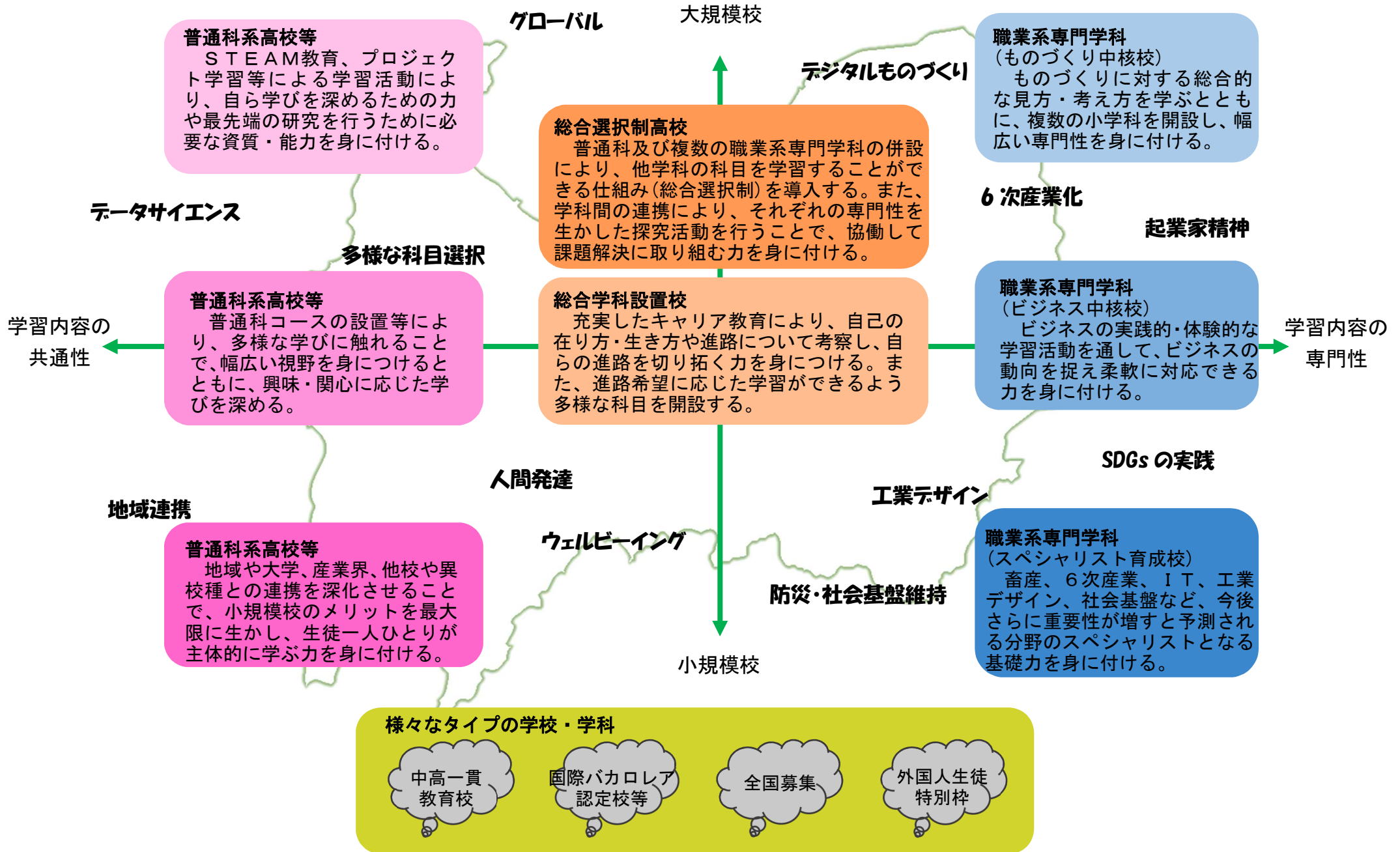
中～大規模校

- ・幅広い学びの選択肢を確保するため、多くの学科や科目を開設する高校
- ・設置学科の一部に特色あるコース等を導入する高校
- ・特色ある学びに必要な科目を開設する高校

小規模校

- ・専門的な科目に特化した教育課程の作成等の工夫により、小規模でも運営が可能な高校
- ※小規模のメリットを最大限に生かす工夫が必要





学科・コースについて

高校には、普通科、専門学科、総合学科の3種類の学科があります。普通科の中には、特色ある科目を学ぶことができるコースを設けている学校があります。総合学科では、自分に合った科目を選び、自分で時間割をつくることができます。専門学科では、農業、工業、商業などの専門分野の科目を重点的に学ぶことができます。(魅力ある富山の県立学校 2023 より抜粋)

普通教育を主とする学科	専門教育を主とする学科		普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科
	普通系	職業系	
普通科 その他普通教育を施す学科 (学際領域学科 地域社会学科 その他普通科)	理数・外国語・国際関係・音楽 美術・体育	農業・水産・工業・商業・家庭・ 看護・福祉・情報	総合学科

※下線は、本県に設置されている学科

※富山、富山中部、高岡に設置している探究科学科は専門教育を主とする学科(その他)の理数(理数科学科)と外国語(人文社会科学科)の2学科の総称

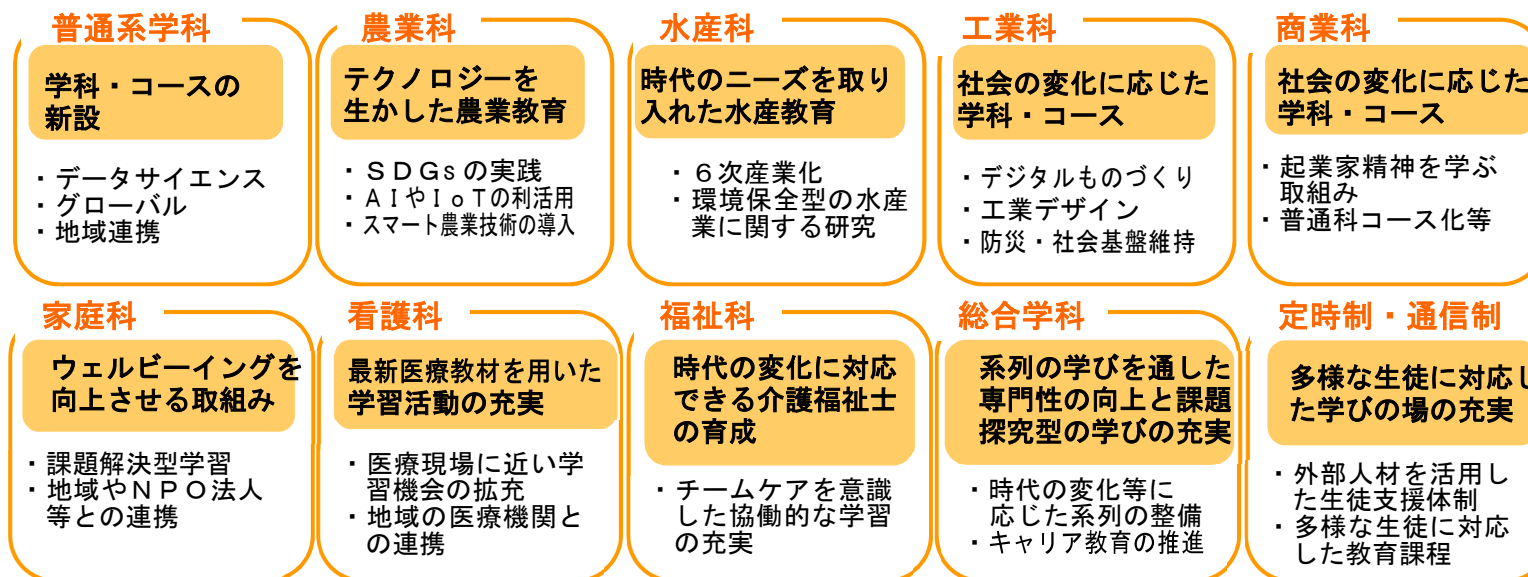
学科・コースの見直し(提言より)

特色・魅力ある教育課程の実現

ICTの効果的な活用

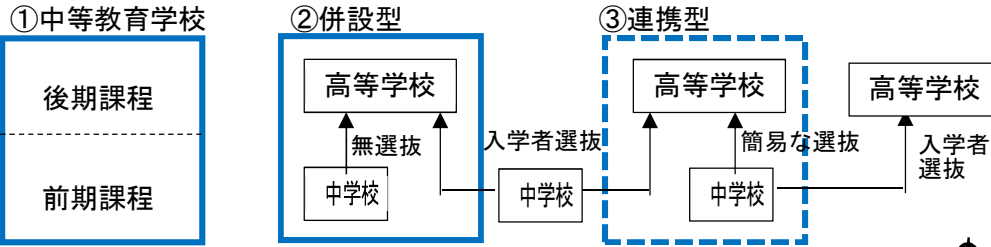
効果的な情報発信

教育活動を支援する取組みの推進



中高一貫教育校

- ・中学校からの6年間にわたる継続的・計画的な教育活動を行う学校です。
- ・実施形態には3つのタイプがあります。



- ＝検討の視点＝
- ・中高一貫教育校のメリットは？効果は？3つのタイプの違いは？
 - ・地元中学校へ就学する生徒が減少するのでは？
 - ・受験指導重視ではない形がよいのでは？
 - ・13歳から18歳の成長過程にどのような形がよいのだろう？

国際バカロレア認定校等

- ・国際的に通用する大学入学資格が取得可能な学校です。
- ・課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラムです。（日本の学習指導要領とのマッチング等別途検討が必要。）
- ・国際バカロレアの他、ケンブリッジ・パスウェイなどの国際教育プログラムもあります。



- ＝検討の視点＝
- ・語学に加え、文化や歴史など教科横断的な授業がよいのでは？
 - ・制約条件が多くなるのでは？
 - ・普通科コースなど、多くの生徒を対象にできる方法がよいのでは？
 - ・施設設備や専門的な教員は確保できる？

全国募集

- ・全国募集とは、生徒単独の移住を前提とした県立高校への受入れ方法です。
- ・令和5年度時点で、38都道府県で実施されています。
- ・世界文化遺産や伝統文化を教材とした特色ある教育活動の門戸を県外生徒に広げるため、地域の協力による県外生徒の受入れ体制が整ったことを踏まえ、南砺平高校で令和7年度から全国募集を実施します。

(経緯)

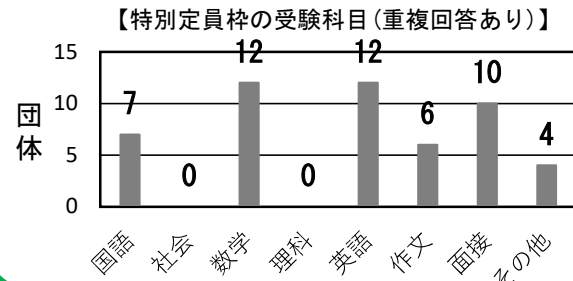
- R5.7 南砺市から県への要望書提出
- R5.8 「魅力ある高校づくりについての講演会」開催
- R5.11 南砺平高等学校全国生徒募集準備会設置
- R6.4 県教育委員会において、南砺平高校での全国募集実施を決定



- ＝検討の視点＝
- ・全国募集にあたり、スキー部や郷土芸能など特色ある取組みや魅力ある教育活動をどのように発信するか？

外国人生徒に係る特別入学校

- ・本県では、入国後6年以内の外国人生徒から申請があった場合、検査問題の漢字にふりがなを付すこととし、日本での生活が短いことで、日本語での受検が困難である生徒に配慮しています。
- ・令和6年度の入学者選抜では、21団体が外国人生徒に係る特別入学校を設定しています。
- ・特別定員枠では「学力検査の検査教科の軽減」や「作文や面接による検査」などを行っています。



- ＝検討の視点＝
- ・入学後の授業はどうするの？
 - ・日本語や英語以外の言語に対応できる人材は？
 - ・入学前からの支援体制も必要なのでは？